



資料 3

# 各圏域別の状況について (区東北部)

東京都地域医療構想アドバイザー

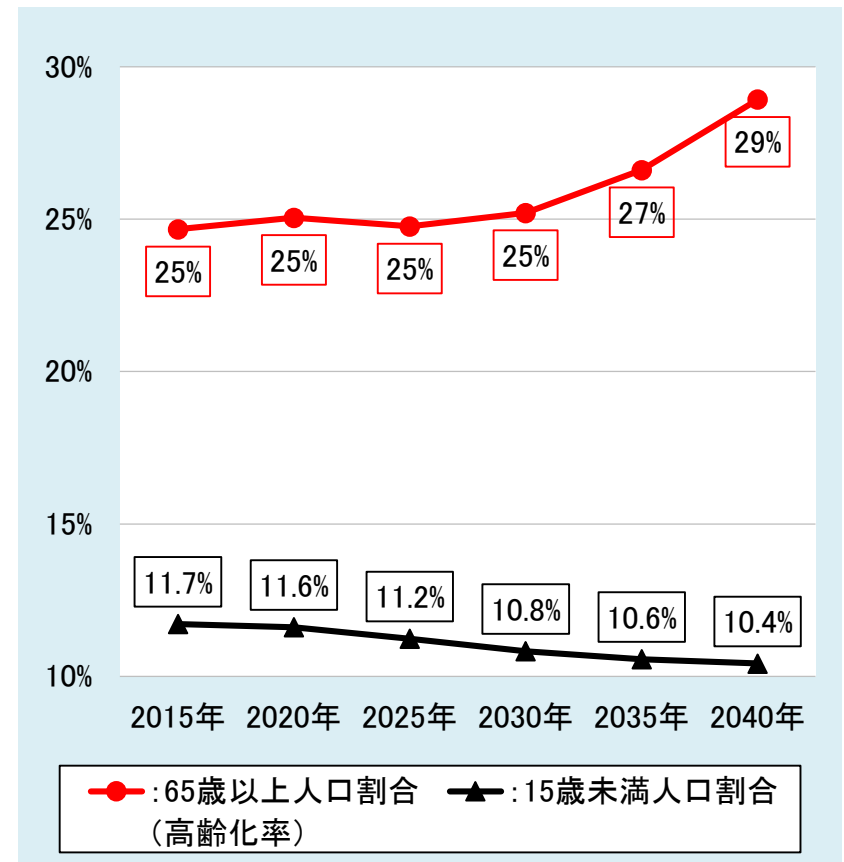
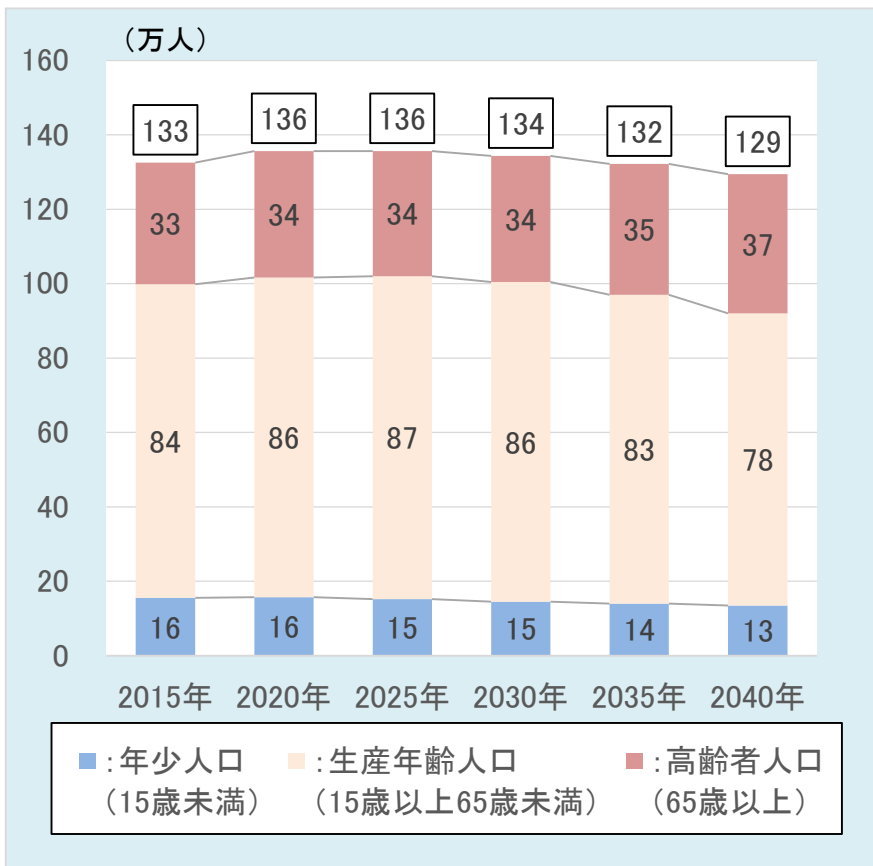
一橋大学 経済学研究科

高久 玲音

高橋 雅生

# 人口動態

- 区東北部では高齢化率が2040年で29%
  - 人口は減少：136万人（2020年）→ 129万人（2040年）

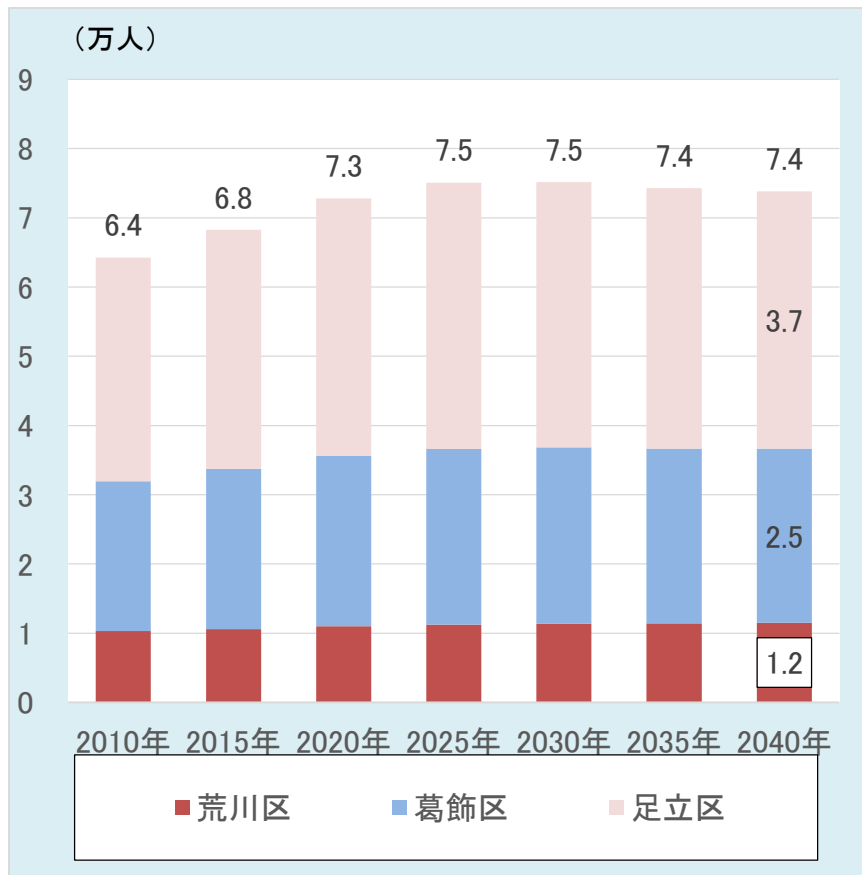


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)

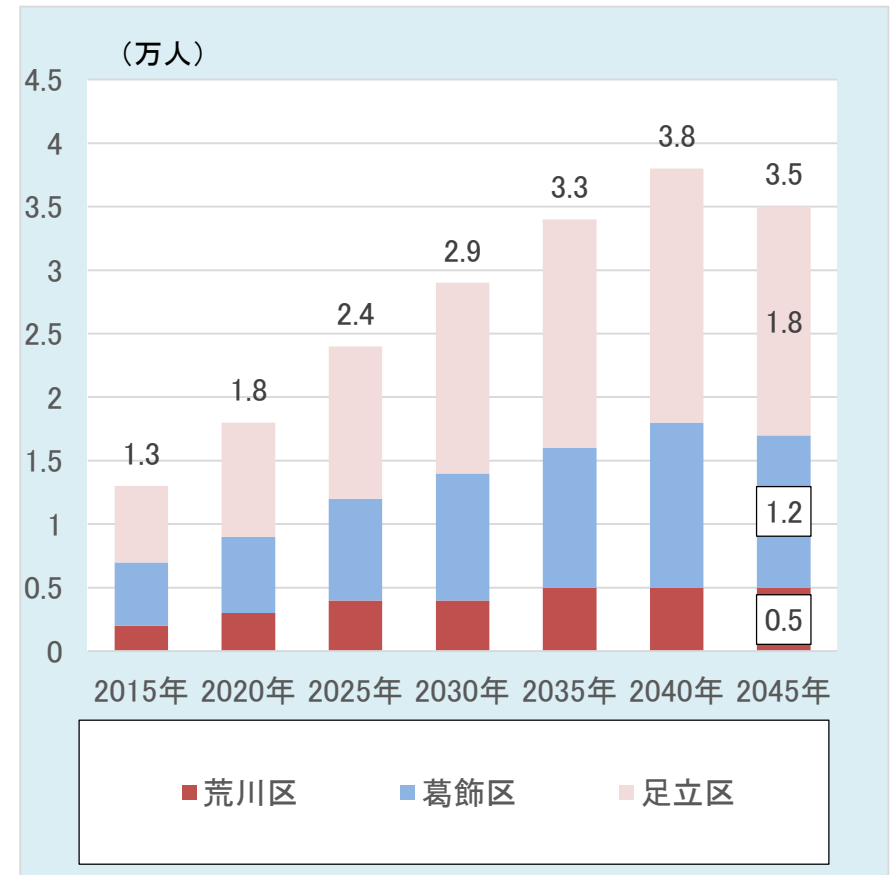
# 超高齢化の動向

- 死亡者数、90歳以上人口は2040年にかけて増加

<死亡者数>



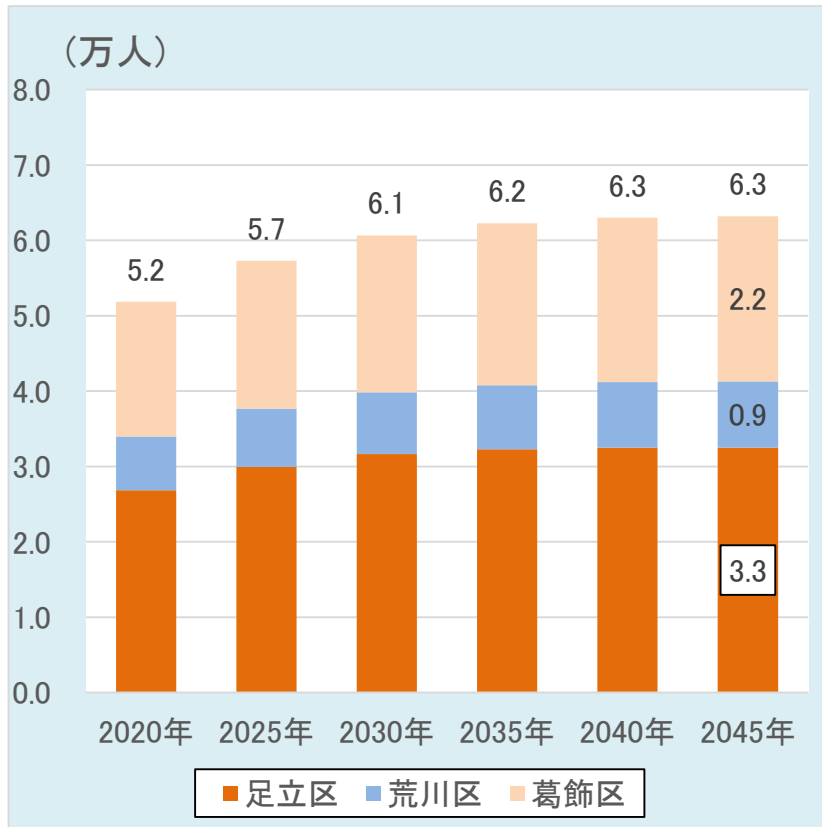
<90歳以上人口>



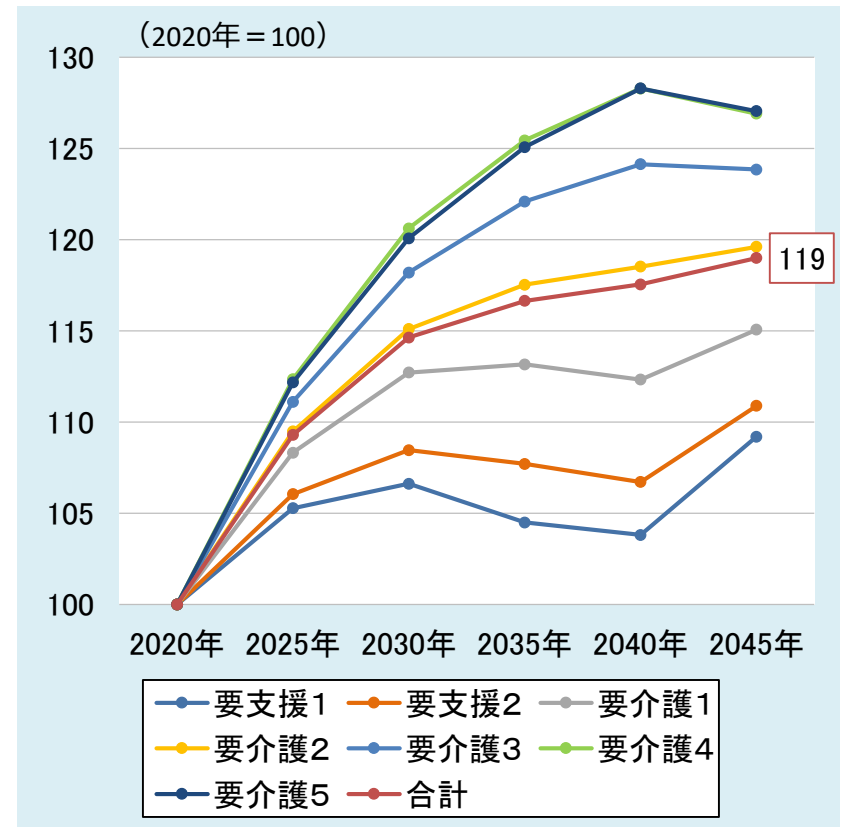
# 要介護認定者数の将来推計

- 2045年の要介護認定者数は19%増加

＜区別要介護認定者数＞



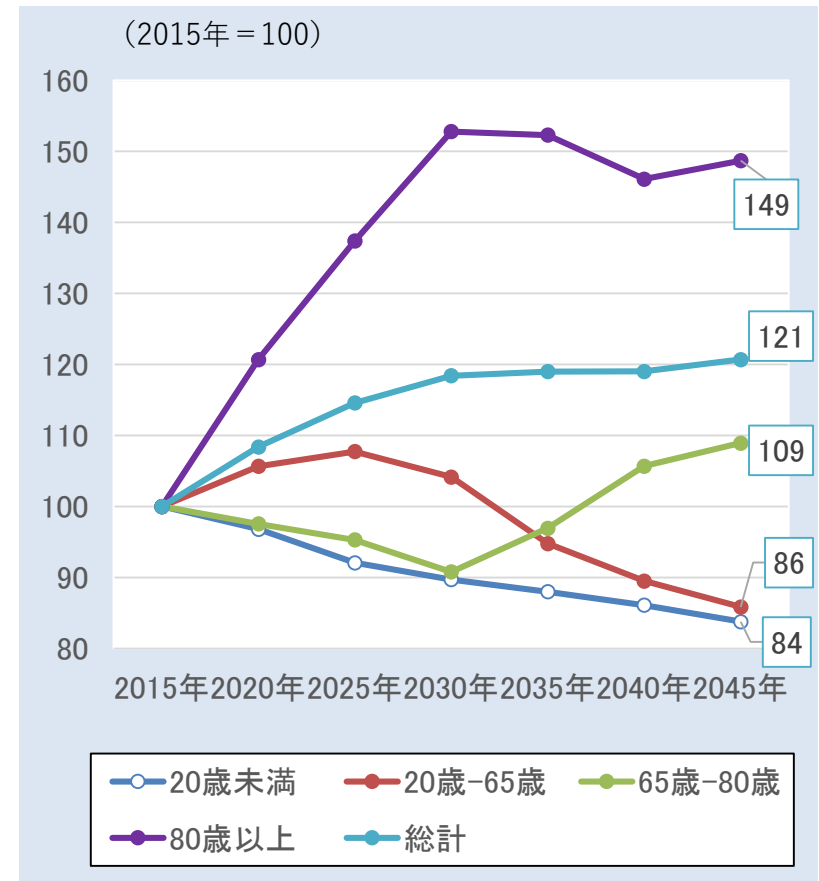
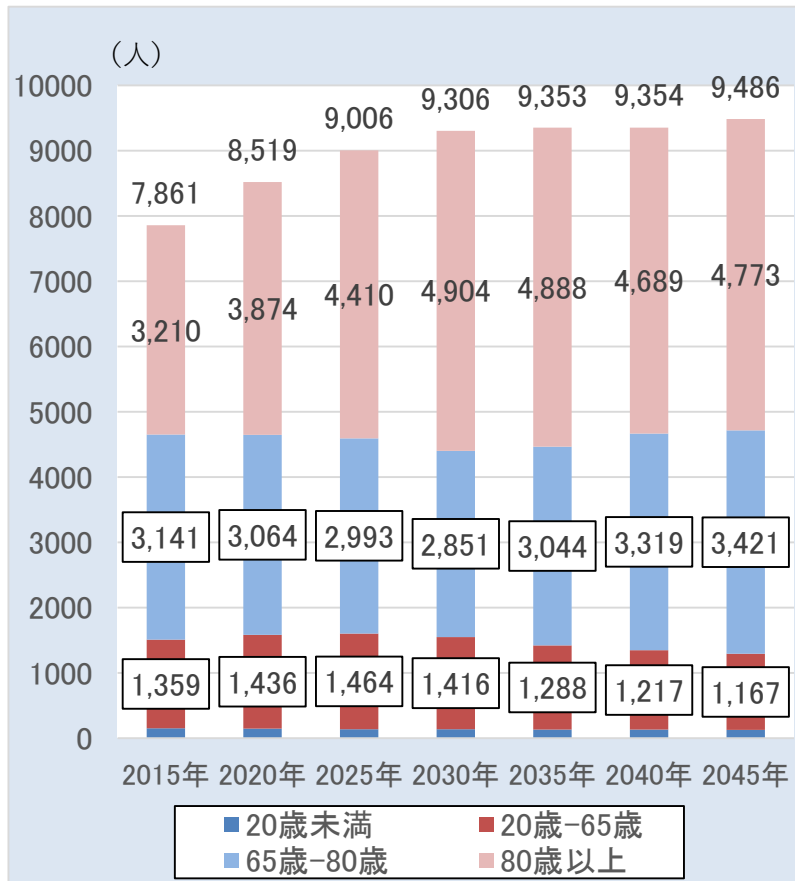
＜要介護度別認定者数＞





# 入院患者数の将来推計（年齢別）

- 2045年にかけて80歳以上の入院患者が49%増加

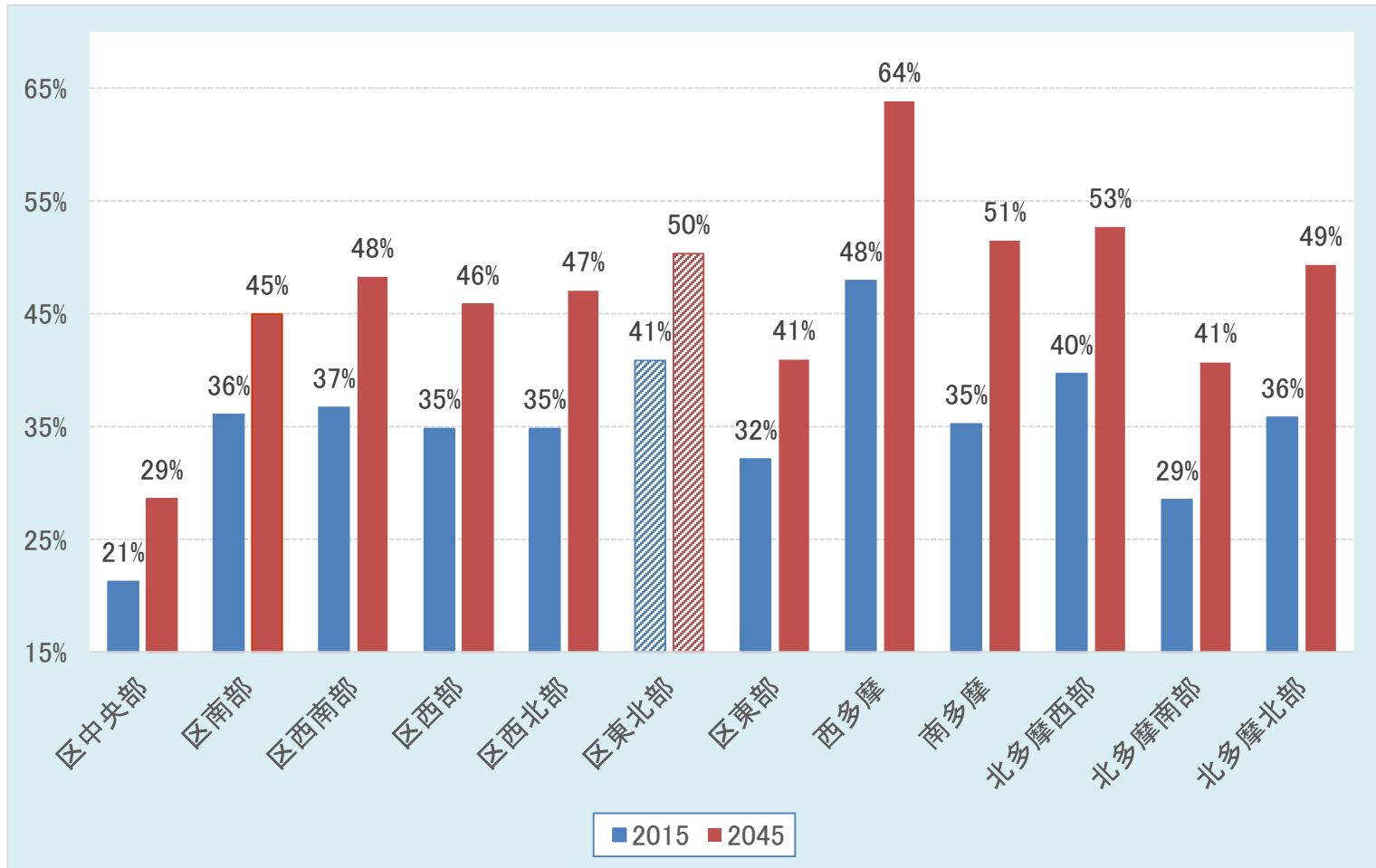


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」（平成31年3月）及び患者調査（平成26年度）から推計。



# 80歳以上の入院患者割合

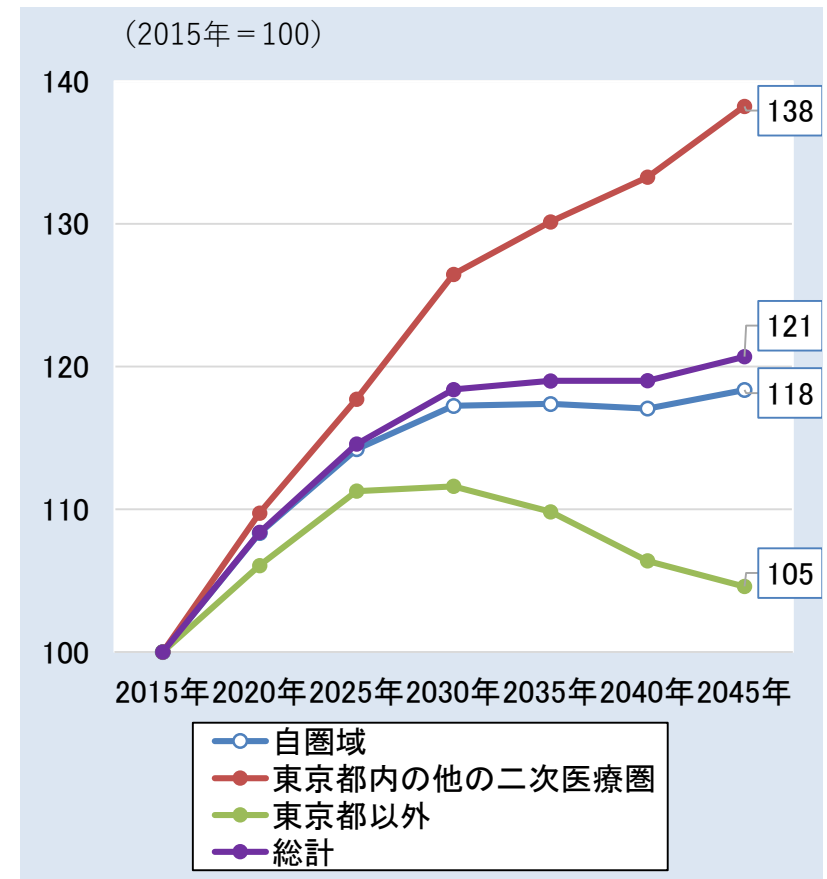
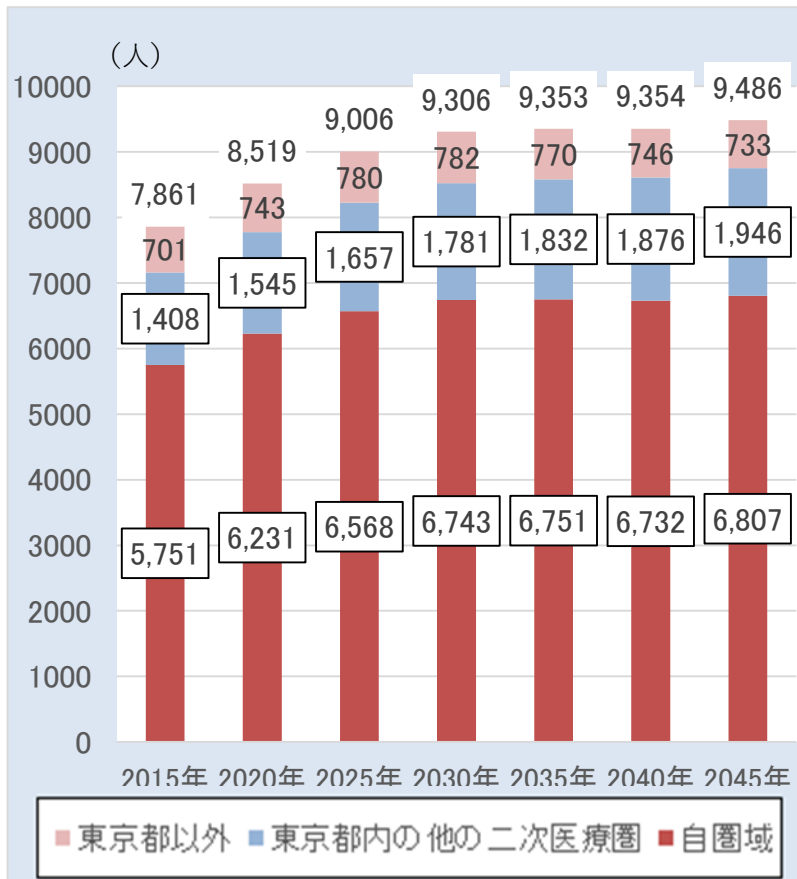
- 80歳以上の入院患者は41%から50%へ増加



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。

# 患者住所地別の将来推計

- 都内の他圏域の患者数が2015年比で38%増加
  - 都外からの流入は横ばい



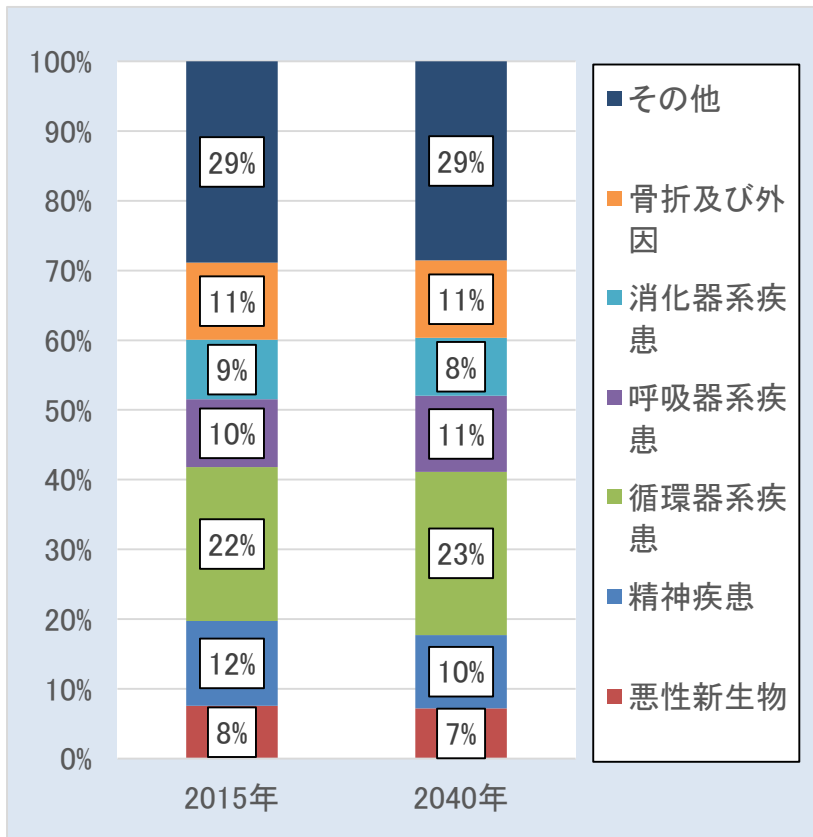
(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



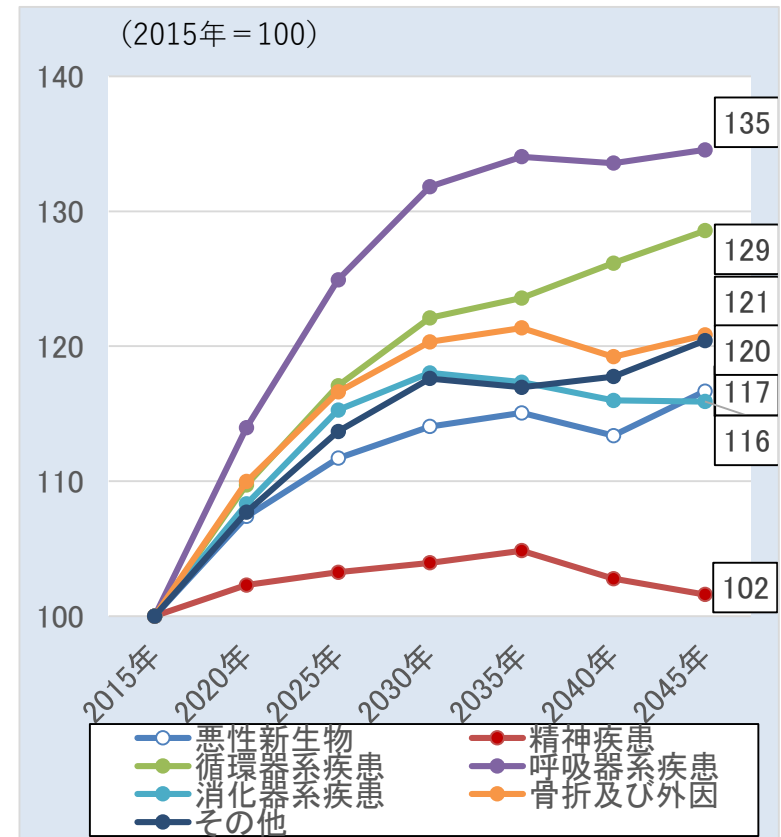
# 疾病種別の将来推計

- どの疾病でも患者数は増加
  - 患者シェアはどの疾病でも概ね横ばい

＜2015年と2040年の患者シェア＞



＜疾病別入院患者数＞





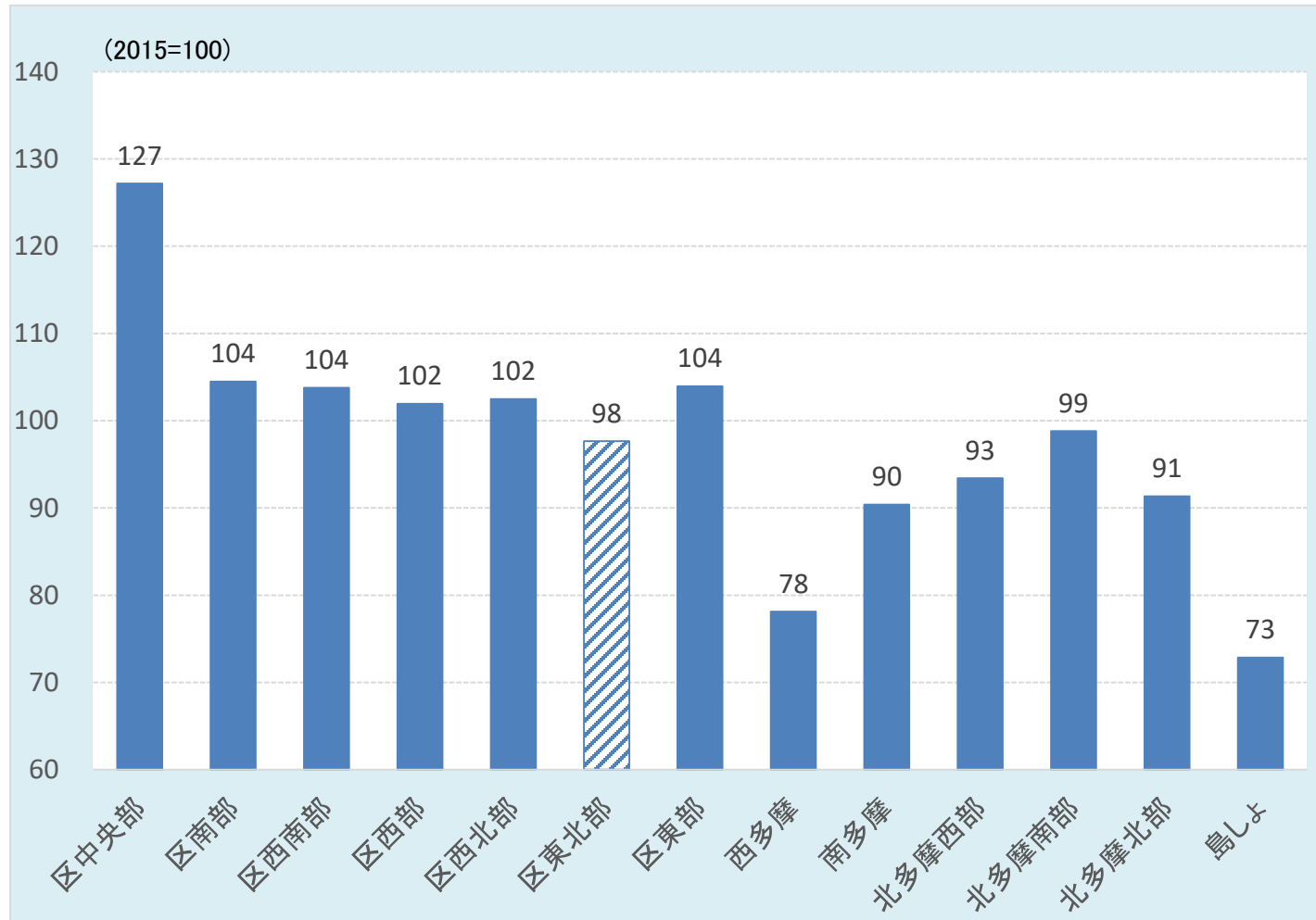


# ポイント

- 超高齢化の進展
  - 死亡者数、90歳以上人口の増加
  - 要介護認定者数の増加
- 入院患者数は80歳以上で増加
  - 2045年には50%の入院患者が80歳以上
- その他の入院医療の将来像
  - 都内の他圏域の患者数が増加
  - 疾患別の患者シェアは横ばい



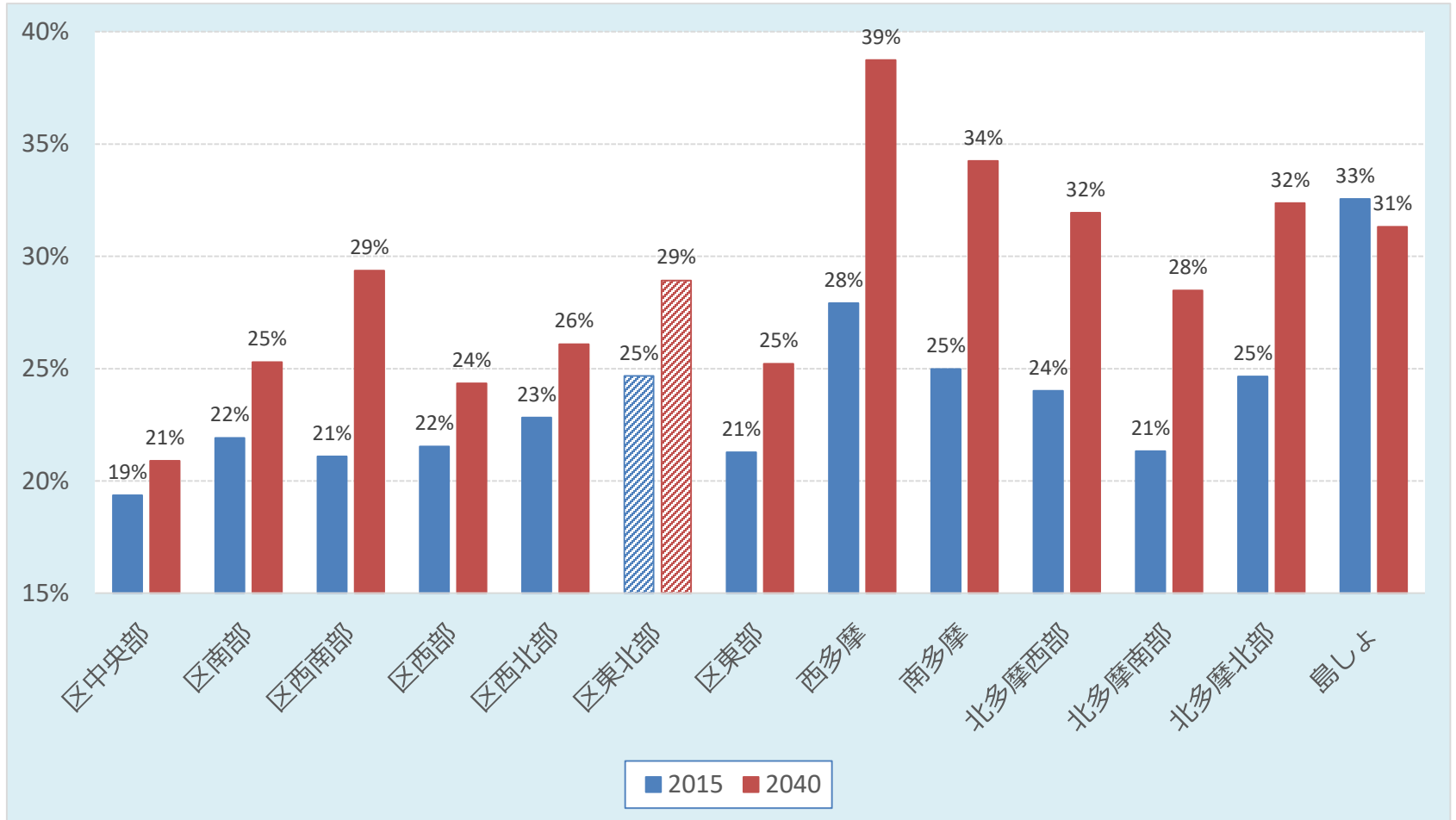
# 人口総数 (2040年)



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



# 高齢化率

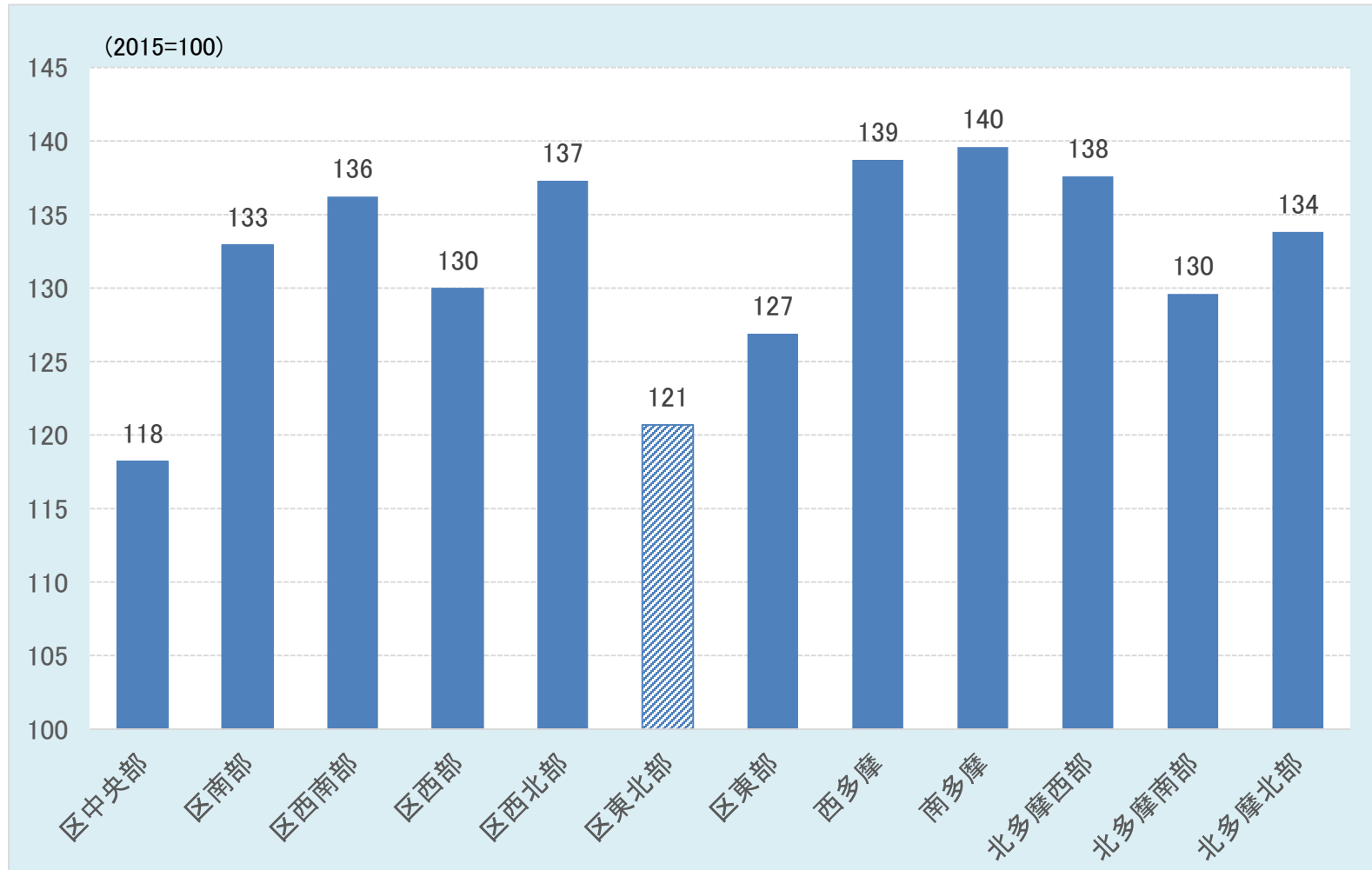


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



# 入院患者総数：2045年

<入院患者総数：2015年対比>



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



# 入院患者数の将来推計の方法

- A) 患者調査（平成26年度）の調査票情報を用いて入院患者数を5歳階級別・患者住所地別・疾病別に推計
- 患者住所地は①推計対象となる二次医療圏、②①以外の東京都内、③他都道府県、の3種別で推計
  - 疾病はICD10をもとに7種類（e.g., 循環器、呼吸器）
  - 年齢は0~5歳など19階級
- B) Aで推計した患者数について、推計対象となる二次医療圏への流入率を推計
- 流入率 = 推計対象となる二次医療圏への流入患者数 / 患者総数
- C) Aで推計した入院患者数を人口当たりに換算し、入院患者の発生率を年齢別に一定と仮定して将来人口推計で2045年まで延伸。
- D) Cで推計された将来にわたる入院患者数に対して、推計対象となる二次医療圏への流入率を掛け合わせて、各二次医療圏の入院患者数を算出